

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第6学年

1. 主題名 「友達とは」 B 友情、信頼
2. 資料名 「コスモスの花」 (出典：光村図書「道徳6」)
3. ねらい

いつもは目立たない北山が友達から賞賛されたことを快く思えない「ぼく」の姿を通して、友達とはどんな存在なのかについて考えさせ、真の友情を育て、互いを尊重し合う健全な友達関係を築いていこうとする心情を育てる。

4. 展開

	学習活動 (○発問、☆中心発問) と児童の反応 (・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	<p>1 友達について想起する。</p> <p>○この人は本当の友達だと思う人、もっと友達になりたい人と思う人の顔を思い浮かべてください。両者の違いは何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手をよく知っているかどうか。 ・気が合うかどうか。 	◇両者を比べることで、友達とはどんな存在か疑問をもたせる。
展開 35分	<p>2 「コスモスの花」を読んで話し合う。</p> <p>○「ぼく」と北山の友達関係のレベルはどのくらいだろうか。</p> <p><友達度>のスケール</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>1 2 3 4 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」が北山を対等の存在とっていないので、「1」だと思う。 ・助けずにはいられなかったから「5」 <p>☆よりよい友達関係を築くために、大切なことはどんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重する気持ち。 ・助け合う心。 <p>○これまでの自分は、友達に対して (例えば「相手を尊重する気持ち」など) を振り返り、今の気持ちを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つつい自分のことばかり優先してしまうことがあった。 	<p>◇登場人物の人柄や関係性について押さえてから発問を問うようにする。</p> <p>◇二人の友達関係について話し合うことで、友達の存在について考えさせる。児童一人一人が考える。「ぼく」と北山の「友達度」のスケールからペアで意見交流を行う。</p> <p>◇導入の課題をもう一度提示して、児童がよりよい関係を築くために大切なことについて考えられるようにする。</p> <p>◆クラスのその授業時に出てきたテーマに関する課題を考えることによって、より自分に引きつけて考えようとしている。(ワークシート)</p>
終末 5分	3 教師の説話を聞く	◇教師が友達を大事にしていこうと自然と思えるような体験談を話すのも効果的である。